

# 第3回学校運営協議会

国分寺東小学校会議室にて

1 日 時 平成31年2月28日(木) 13:40～15:40

2 参加者(敬称略) 学校運営協議会委員 □□ □ □□□□ □□□□ □□□□  
□□□□□ □□ □ □□□□□ □□□□  
□□ □ (本校校長)  
地域学校協働活動推進委員 □□□□  
事務局 □□□□ (本校教頭)、□□□□ (本校教務主任)

## 3 内 容

(1) 全学級授業参観

(2) 学校運営協議会

- ① 学校評価分析結果について(教頭)
- ② 学校評価結果についての意見交換
- ③ その他

(3) 事務連絡

(4) 主な話題、協議内容、意見

○給食指導について

- ・児童のコメントの中で、「給食の好き嫌い」について書かれていたが、学校ではどのような指導を行っているか。
- 保護者の意見にも「嫌いなものを減らして食べさせているようだが減らさずに一定の量は食べさせてほしい。減らす習慣がついたまま高学年、中学生になるのが心配。学校全体での取り組みか。」というものがあつた。決して、積極的に嫌いなものは食べなくてもよいとしているわけではない。減らしてもいいから少しは食べるようにと指導している。無理に食べさせるような指導はできない。
- ・嫌いなものを食べる指導は、家庭で行う方がよいのではないか。自分の孫を見ても、好き嫌いがあり、親の好きなものを子供は食べているところがある。嫌いなものを家でも少しは食べさせるような協力は必要ではないか。

○学校と家庭の役割

- ・保護者から宿題の量や就寝時間についての要望があつたが、この点はどうか。
- 家庭の状況や個人差もあるが、家庭学習の時間として、学年プラス10分としている。1年生なら20分、6年生なら70分。
- ・家庭での躰と学校での指導がかみ合うように、学校と保護者が一緒に進んでいけるとよい。
- 今回、保護者からご意見をいただいた半数以上は、先生方への感謝や学校のよいところを書いていただけた。
- ・各家庭で考えるべきこともある。やってはいけないこと、しなければいけないこと、妥協すべきこと等を、しっかりと考えた上で必要に応じて学校とも相談できるとよいのではないか。

○児童と保護者の評価のギャップ

- ・同じことでも子供の感じ方、保護者の感じ方が違うので、評価は変わる。先生と子供の評価は同じくらいなのに保護者の評価が低いのは、親が子供への希望や期待が大きいためだと思う。
- 学校では子供たちは、がんばっている。家では安心や甘えがあるのかのんびりしてしまうのではないか。

### ○地域の教育力、地域と保護者の関わり

- ・挨拶の声が大きくない。こっちから言えば知らない子も挨拶するが、先に一言言えるといいのだが。
  - ・中学生や子供たちに声を掛ければ挨拶が返ってくるが、今は、大人が挨拶しない。地域社会が大きく関わってきている。三世帯同居が少なくなり、1世帯当たり2.6人、自治会加入率が64%。地域社会の中で関わりを積み重ねていかないと。地域の大人が関わるべきだ。
  - ・立正大の小宮先生は、地域で挨拶をすると犯罪が減ると言っている。顔を合わせる機会を東方台地コミュニティでは考え、活動を増やそうとしている。
- 現在、国分寺東小の子供たちの基本的な生活習慣は、おおむね身に付いていると思う。学校でも、小さなことはいろいろあるが、ぶつかり合いながら学んでいくのが学校。挨拶など、課題はいろいろある。児童一人一人の個性もあるし、家庭の状況や考え方も様々である。全てを完璧にとはいかないが、なるべく前進させたいし、せめてここまではというところまでは引き上げていきたい。学校だけでは難しいので、保護者・地域の力をお借りしたい。
- ・保護者もいろいろと大変である。はき出すと軽くなるのに、近くに親戚のない方などはつながりがいいからにはき出せない。ある本には、専業主婦、核家族、幼稚園や保育園に通っていない子を持つ親が一番危険とあった。やはり地域でつながることが大事だと思う。
  - ・子育て支援センター等も活用できるといい。そのようなところに引き出すのが若い人たちだけでなく、地域の方が関わるとよい。
  - ・今の若い親御さんは、「一歳でこれができないと」と言われたり、数字が出たりするとそればかり気にしてしまう。「数字なんか、気にしちゃダメだよ。」と話している。はき出す場面がない。この下野市に家を借りた、嫁いできたという人は、知っている人がいないのでスマホが頼りになっている。
  - ・本日の授業参観で、子供たちが勉強を行っている姿を見て安心した。感心した。掲示物、字がきれい、心がきれい。ダメなところを補うことも必要だが、見方を変え、よいところを伸ばした方がよい。子供の様子を見て、「少し変わってきた、成長した」となれば、親も見ると目が変わってくる。

### ○まとめ

- ・地域の子供は地域で育てていく。自分の子供だと思って接していく。挨拶、注意することも必要。みんなで育てていこう、地域が育てていこうという雰囲気になればよいのでは。
  - ・学校に対する色々な意見はあるが、よく運営していただいている。要望のレベルが上がっていく中で学校は非常に大変であると思う。今回いただいた意見を精査して、直すべきところは直して欲しい。
- 学校運営協議会委員の皆様から、関係する周りの方に、本校の子供たちへ挨拶の声を掛けていただきたいと伝えてほしい。皆様が身近な人に声を掛けていただくことで、それがさらに広がっていくことができれば、地域から挨拶されるようになり、子供たちも挨拶がしっかりとできるようになるのではないかと思う。学校においても、教職員から保護者や地域の方へ挨拶がきちんとできるよう呼びかけていく。